

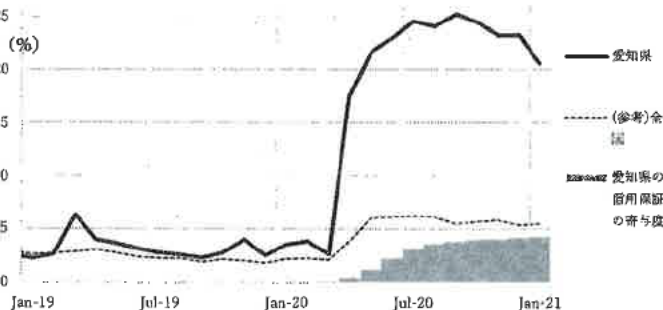
オープン カレッジ

銀行貸出前年比を都道府県別にみると、昨年は愛知県が首位であったことを皆さんご存じだろうか？ 2020年末時点での都道府県別の銀行貸出前年比は、愛知は+23・3%と、2位

(山梨、+8・6%)以下を大きく引き離して断然のトップである。高い伸びの背景は、「都市銀行等の増加を主因」(2020年10月日本銀行名古屋支店「東海3県の金融経済動向」)のようだが、これに加えて、コロナ対応のため打ち出された信用保証制度の拡充、すなわちセーフティーネット保証の対象者拡大、危機

コロナ禍と信用保証

愛知県の銀行貸出前年比と信用保証の寄与度



対応するための流動性確保、当面の事業資金確保のための資金需要の台頭がある。こうした手厚い信用保証制度の緊急的な拡充により、倒産件数は低位に抑制され、2020年中は近年の最低レベルで推移した。これは、信用保証の大きいなる事実と言ってもよい。

面で中小・零細向けの公的信用保証のスキームが速やかに拡充され、特に5月から実質無担保・無利子で金融機関からの借り入れができるようになってから急速に貸し出しが増加した。県

全国一の伸び率 愛知県の銀行貸出

関連保証の発動、実質無利子・無担保融資などによる中小企業向けの貸出増の寄与も見逃せない。

すなわち、昨年の新型コロナウイルス感染症拡大の局



植林 茂
大学マネジメント学部教授
山女学園大学
現代マネジメント

うえばやし・しげる 金融。埼玉大学大学院経済科学研究科博士。後期課程修了。博士(経済学)。

内の月次の信用保証承諾は昨年1月には353億円であったが、6月には4481億円を記録するなど、信用保証は大いに活用された。業種別には、愛知県に企業数が多い製造業、建設業の利用のほか、飲食業や卸売業において利用が急増した。

信用保証を利用した借入増の背景には、企業の予備的動機の強まり、すなわち新型コロナウイルス感染症拡大による経済状況の悪化に

このように信用保証制度は今次局面では倒産抑止に關して大きな成果を挙げた。もっとも、先行き、コロナ後も業況を改善できない企業の代位弁済の増加や、これを背景とした信用保証協会の財務状況の悪化、さらにモラルハザードの顕現化などの問題が生じると考えられ、今後は、これらを踏まえたバランスのとれたかじ取りが迫られている。